



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月6日

上場取引所 東

上場会社名 日本コークス工業株式会社

コード番号 3315 URL <http://www.n-coke.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 西尾 仁見

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役人事・総務部長

(氏名) 鍛冶屋 和博

TEL 03-5560-1311

四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	74,484	△6.7	4,199	△20.5	3,307	△26.1	2,017	△21.4
26年3月期第3四半期	79,809	△4.2	5,282	46.1	4,477	69.7	2,568	71.4

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 2,093百万円 (△19.5%) 26年3月期第3四半期 2,599百万円 (82.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	6.69	—
26年3月期第3四半期	8.51	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	113,044	43,472	38.4
26年3月期	115,263	42,262	36.6

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 43,388百万円 26年3月期 42,152百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	103,700	△4.8	6,300	△13.0	5,800	△6.0	2,300	△24.1	7.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※上記業績予想値は、前回(平成26年5月9日)公表した業績予想値から修正しております。詳細は、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期3Q	302,349,449 株	26年3月期	302,349,449 株
27年3月期3Q	628,368 株	26年3月期	626,707 株
27年3月期3Q	301,722,052 株	26年3月期3Q	301,726,128 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(参考)

平成27年3月期の個別業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	92,500	△4.9	5,900	△9.3	5,600	△1.0	2,800	△0.8	9.28

※1. 上記業績予想値は、前回（平成26年5月9日）公表した業績予想値から修正しております。

前回（平成26年5月9日）公表値：売上高 91,000百万円 営業利益 5,100百万円

経常利益 4,300百万円 当期純利益 2,200百万円

※2. 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的と判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、景気は緩やかな回復基調が続きましたが、企業収益や設備投資の動きはおおむね横ばいとなり、海外景気の下振れリスクなどが依然として存在する状況で推移しました。

このような状況のもと、当社グループの業績は、主力のコークス事業において、原料炭価格の下落等の影響を受けて販売価格が下落したことなどにより、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は、前年同期比53億2千5百万円減少の744億8千4百万円となりました。

また、利益面では、原料コスト削減のために低品位原料炭の使用拡大などに取り組んだものの、割高な原料炭在庫の使用影響などにより、連結営業利益は、前年同期比10億8千2百万円減少の41億9千9百万円、連結経常利益は、前年同期比11億7千万円減少の33億7百万円となりました。

なお、四半期純利益は、前述の理由のほか、法人税等の影響により、前年同期比5億5千万円減少の20億1千7百万円となりました。

(セグメントの概況)

コークス事業につきましては、前述の理由などにより、売上高は、前年同期比54億1千3百万円減少の433億2千9百万円、営業利益は、前年同期比10億4千5百万円減少の36億1千8百万円となりました。

燃料販売事業につきましては、売上高は、前年同期比11億7千2百万円増加の210億1千6百万円、営業利益は、前年同期比1億8千5百万円増加の14億4千3百万円となりました。

総合エンジニアリング事業につきましては、売上高は、前年同期比11億9千9百万円減少の58億1千7百万円、営業利益は、前年同期比1億5千1百万円減少の6千万円となりました。

その他につきましては、売上高は、前年同期比1億1千4百万円増加の43億2千1百万円、営業利益は、前年同期比1億2千万円減少の1億3千3百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、1,130億4千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ22億1千9百万円減少となりました。増減の主なものは、有形固定資産「その他」の増加13億4百万円、原材料及び貯蔵品の減少15億8千8百万円、機械装置及び運搬具の減少13億5千2百万円等であります。

当第3四半期連結会計期間末の負債は、695億7千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ34億2千8百万円減少となりました。増減の主なものは、短期借入金の増加12億6千9百万円、支払手形及び買掛金の減少37億8千5百万円、未払法人税等の減少15億1千8百万円等であります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ、利益剰余金の増加などにより、12億9百万円増加の434億7千2百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の連結業績予想においては、原料炭価格やコークス販売価格の現時点での見込みや為替影響などから、売上高は7億円増加の1,037億円、営業利益は5億円増加の63億円、経常利益は11億円増加の58億円となり、当期純利益については、連結子会社の固定資産減損懸念などもあり、前回(平成26年5月9日)公表値と同額の23億円であります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)および「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文および退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更し、割引率の決定方法についても、従業員の平均残存勤務期間に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間および支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務および勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

なお、当該会計基準等の適用が連結財務諸表に与える影響は、軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,203	3,329
受取手形及び売掛金	11,209	10,440
商品及び製品	6,993	7,482
仕掛品	630	929
原材料及び貯蔵品	9,199	7,610
その他	3,065	2,840
貸倒引当金	△17	△16
流動資産合計	34,284	32,616
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具	68,711	71,108
減価償却累計額	△43,169	△46,919
機械装置及び運搬具(純額)	25,541	24,188
土地	38,975	38,644
その他	22,570	24,279
減価償却累計額	△13,523	△13,927
その他(純額)	9,047	10,351
有形固定資産合計	73,564	73,184
無形固定資産		
その他	673	649
無形固定資産合計	673	649
投資その他の資産		
その他	6,755	6,605
貸倒引当金	△13	△11
投資その他の資産合計	6,741	6,594
固定資産合計	80,979	80,427
資産合計	115,263	113,044

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,742	12,956
短期借入金	15,064	16,334
1年内償還予定の社債	14	14
未払法人税等	1,528	9
賞与引当金	759	387
関係会社整理損失引当金	387	387
受注損失引当金	15	1
その他	6,209	6,894
流動負債合計	40,720	36,985
固定負債		
社債	72	65
長期借入金	23,207	23,759
退職給付に係る負債	4,641	4,462
役員退職慰労引当金	48	51
環境対策引当金	2,993	2,993
その他	1,317	1,254
固定負債合計	32,281	32,586
負債合計	73,001	69,572
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,000	7,000
資本剰余金	1,750	1,750
利益剰余金	33,868	35,003
自己株式	△106	△106
株主資本合計	42,511	43,646
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	37	46
繰延ヘッジ損益	△142	△171
為替換算調整勘定	115	138
退職給付に係る調整累計額	△370	△272
その他の包括利益累計額合計	△358	△258
少数株主持分	109	84
純資産合計	42,262	43,472
負債純資産合計	115,263	113,044

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	79,809	74,484
売上原価	70,139	65,850
売上総利益	9,669	8,633
販売費及び一般管理費	4,387	4,433
営業利益	5,282	4,199
営業外収益		
受取配当金	162	75
その他	141	99
営業外収益合計	304	174
営業外費用		
支払利息	537	447
その他	572	619
営業外費用合計	1,109	1,067
経常利益	4,477	3,307
特別利益		
固定資産売却益	80	82
関係会社株式売却益	17	27
その他	17	3
特別利益合計	115	112
特別損失		
固定資産除却損	475	368
その他	214	63
特別損失合計	689	432
税金等調整前四半期純利益	3,903	2,987
法人税、住民税及び事業税	944	541
法人税等調整額	403	454
法人税等合計	1,348	995
少数株主損益調整前四半期純利益	2,555	1,992
少数株主損失(△)	△13	△25
四半期純利益	2,568	2,017

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,555	1,992
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5	8
繰延ヘッジ損益	26	△29
為替換算調整勘定	12	22
退職給付に係る調整額	-	98
その他の包括利益合計	44	100
四半期包括利益	2,599	2,093
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,612	2,118
少数株主に係る四半期包括利益	△13	△25

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1. 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計額	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	コークス事業	燃料販売事業	総合エンジニアリング事業	計				
売上高								
(1)外部顧客への 売上高	48,742	19,843	7,017	75,602	4,206	79,809	—	79,809
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	772	772	235	1,008	△1,008	—
計	48,742	19,843	7,789	76,375	4,442	80,817	△1,008	79,809
セグメント利益	4,664	1,258	211	6,134	254	6,388	△1,106	5,282

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸荷役事業、不動産販売・賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,106百万円は、セグメント間取引消去13百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,119百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計額	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	コークス事業	燃料販売事業	総合エンジニアリング事業	計				
売上高								
(1)外部顧客への 売上高	43,329	21,016	5,817	70,162	4,321	74,484	—	74,484
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	1,084	1,084	192	1,276	△1,276	—
計	43,329	21,016	6,902	71,247	4,513	75,761	△1,276	74,484
セグメント利益	3,618	1,443	60	5,122	133	5,256	△1,056	4,199

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸荷役事業、不動産販売・賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,056百万円は、セグメント間取引消去△4百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,052百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。